

J019-004

会場：C304

時間：5月30日 9:45-10:00

昭和基地 SuperDARN 及び MF レーダーによる中間圏界面領域中性風の比較観測 Syowa SuperDARN and MF radar studies of mesopause neutral wind

行松 彰[1], 堤 雅基[2]

Akira Sessai Yukimatu[1], Masaki Tsutsumi[2]

[1] 極地研超高層, [2] 極地研

[1] UAP, NIPR, [2] NIPR

SuperDARN レーダーマルチパルス ACF 法による近距離流星エコーを用いた中間圏界面中性風観測には欠点があったため、生時系列データを用いたより直接的な中性風速度場及び高度情報の導出手法が開発され、これにより中間圏界面領域中性風速度場の鉛直構造を SuperDARN で初めてとらえることに成功した。今回我々は、昭和基地の SuperDARN レーダーデータの生時系列データ解析手法による中性風と ACF 法による中性風との比較、また同じく昭和基地 MF レーダー FCA 法及び流星法による中性風速データとの比較を行う。